

ふるさと歴史散歩

〔第173回〕府中町の中世山城跡 その三



を得ません。

ここまで、このコラムで6つの城跡の紹介をしました。このほか空城山公園の文化財看板にも、城として使用されていた可能性について記述しています。広く周囲を見渡せる丘陵であり、その可能性はありますが、現状では公園として整備されており、その存在は確認できません。

阿計玖羅城跡は、前回紹介した新城城跡と同様に、町と広島市畑賀の境の丘陵部にあります。揚倉山健康運動公園から広島市畑賀へ抜ける峠を「甲越（国府）峠」と呼んでいます。その峠の北側、茶臼山（標高271m）の南約100mの丘陵頂部、標高281m（揚倉山）の地点に位置していることから、阿計玖羅城跡は別名「揚倉城跡」とも呼ばれています。

現在、城跡の一部には送電線鉄塔が建設されたり、散策のための自然歩道が整備されたりするため、本来の姿が一部失われています。

郭は、南北に3つの郭が配されています。中央の最高所が1郭で、東から南側の低い切岸を降りると、腰郭状の平坦面が取り付いています。1郭の規模は、30m×16mで3つの郭のうち

最も広く、主郭となるものです。その南側には、高い切岸を挟んで、2番目に広い2郭（17m×12m）があります。1郭の北側には、堀切を挟んで3郭（15m×5m）があり、その北側の尾根にも堀切が設けられています。また、1郭の送電線鉄塔を挟んだ西側尾根にも、あまり明瞭ではありませんが、加工度の低い平坦面がみられます。

阿計玖羅城跡については、『芸藩通志』に「石津畑賀の居所」と記載がありますが、『芸藩通志』は江戸時代の書物で、古城址と記載されています。城が機能していた時代（中世）の文書に阿計玖羅城に関連したものがあればよいのですが、そのような文書が確認できておらず、現時点では、阿計玖羅城跡の城主については、不明といわざる



阿計玖羅城跡略測図(S=1:3000)

出典：県教育委員会「広島県中世城館遺跡総合調査報告書第一集」

（公財）広島県教育事業団
埋蔵文化財調査室

沢元 保夫

パツと簡単！朝パツ君レシピ

府中朝パツ君汁

コンセプトは、“簡単にできること”。広島県の特産物「ちりめん」をだし汁と実の両方に使っています。アレンジも可能！

朝ごはんに
ピッタリ！



朝パツ君ネット
ワークおすすめ
レシピを紹介



固健康推進課 ☎286-3257

材料（4人分）

ちりめんじゃこ 大さじ2
しめじ 1/2パック
（小房に分ける）
豆腐 1/3丁
（角切りにする）
乾燥わかめ 小さじ1
油揚げ 1/2枚
（食べやすい大きさに切る）
青ねぎ 2本
（小口切りにする）
みそ 大さじ2
水 3カップ

作り方

- ① 水にちりめんとしめじを入れ、火にかける。
（中火～弱火でじっくり煮る）
- ② 沸騰したら、油揚げと豆腐を加えて煮る。火がとおったら、わかめを加えて煮る。
- ③ みそを溶かし入れ、仕上げにねぎを入れる。